

「レポートの書き方」 第2章 確認テスト

－答えと解説－

第2章の確認テストです。『レポートの書き方』第2章の内容がきちんと身につけているかどうかを確認しましょう。

問1 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の選択肢の中から「大学の授業の目的」として最も適切なものを選びなさい。

- 1** 大学の授業では、それまでに身に付けてきた知識だけを使い、ものごとを客観的に評価したり検討したりする力が求められる。
- 2** 大学の授業では、新たに知識を身に着けるのみならず、得られた知見を活かしながら、その価値や正当性をつねに客観的に否定することが求められる。
- 3** 大学の授業では、新たに知識を身に着けるのみならず、得られた知見を活かしてものごとを客観的に吟味したり、その価値や正当性を評価したりすることが求められる。
- 4** 大学の授業では、新たに知識を身に着けることよりもむしろ、得られた知見を活かしながらものごとを主観的に吟味したり、その価値や正当性を検討したりする力が求められる。

答え 3

解説

『レポートの書き方』第2章第1節に説明があるので参照しよう。「1」は「知識**だけ**を使い」の部分が、「2」は「つねに**客観的に否定**することが求められる」という部分が、「4」は「物事を**主観的に**吟味」という部分がそれぞれ誤り。

問2 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の空欄(A)(B)に当てはまる言葉を選びなさい。

大学生に求められる批判的検討力は、自分で(A)を見つけ、客観的な分析をとおして、(B)を導く力といえる。

- 1** (A) 課題 (B) 主題

- | | | |
|---|---------|--------|
| 2 | (A) 疑問 | (B) 問題 |
| 3 | (A) 間違い | (B) 正解 |
| 4 | (A) 問題 | (B) 答え |

答え 4

解説

『レポートの書き方』第2章第1節に説明があるので参照しよう。

問3 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の選択肢の中から「批判的検討力を高める方法」の説明として、最も適切なものを選びなさい。

- 1 授業中の先生の説明は素直に聞き入れ、メモやノートをきちんととるとともに、もしわからないことがあれば、授業中の質問時間や授業後に質問したり、参考文献やインターネットで調べたりして、すぐに疑問を解決する姿勢が大切である。
- 2 授業中に先生の説明でわからないことがあったとしてもすぐに質問するのではなく、ひとまず疑問点をメモに残しておき、後からそのメモを見返してみて「やっぱりちょっと気になる」「何だかひっかかる」と思った箇所についてのみ先生に質問したり、自分で時間をかけて調べたりすることが大切である。
- 3 授業中の先生の説明は、「本当にそうだろうか」「先生の説明の根拠はいったい何だろうか」などと常に疑問符を投げかけながら聞くとともに、浮かんだ疑問は逐一メモに残し、あとで先生に質問したり参考文献を探して読んだりし、それでも解決できない疑問については、時間をかけて自分で考察してみる姿勢が大切である。
- 4 授業中に先生が説明する内容や、授業中に使うテキストに書かれていることの中には、間違いが含まれているということを念頭におきながら授業を受講するとともに、少しでも疑問に思った箇所は、たとえ授業の流れをささざるようになったとしても遠慮せずに質問し、先生とのやり取りの中でレポートの「とっかかり」となるような「問題」を、自分から積極的に見つけ出すことが大切である。

答え 3

解説

『レポートの書き方』第2章第1節に説明があるので参照しよう。「1」は「先生の説明は素直に受け入れ」のところが誤り。「根拠は何だろう?」「私はそうは思わないけど…」など、疑問符を投げかけて聞くことが大切である。「2」は、授業中の質問時間や、授業後ならば、いつでも先生に質問してよい。「4」は、「たとえ授業の流れ

をささぎることになって…」の部分が不適切。質問したいときには、授業内に用意されている質問時間や、授業後に質問しよう。

問 4 次の問いに答えなさい。

「レポートの書き方」の内容を踏まえて、次の(ア)～(ウ)に当てはまる数字の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。

「A4 用紙○枚」という課題が出た場合、特に指定がなければ、通常 A4 用紙 1 枚は、(ア) 字×(イ) 行～40 行=1400 字～(ウ) 字程度と考える。

1	(ア). 35	(イ). 35	(ウ). 1575
2	(ア). 40	(イ). 30	(ウ). 1600
3	(ア). 40	(イ). 35	(ウ). 1600
4	(ア). 45	(イ). 30	(ウ). 1600

答え 3

解説

『レポートの書き方』第 2 章第 2 節に説明があるので参照しよう。

問 5 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の課題指示が出された場合の対応方法として最も適切なものを、選択肢の中から選びなさい。

「7 月 31 日 (水) 17 時までに、2000 字程度 (A4 用紙・横書き) のレポートを書き上げ、所定の場所に提出しなさい」という課題が出題された。

- 1 4800 字のレポート(A4 用紙・横書き)を、締切前日の 16 時に、所定の場所に提出した。
- 2 1900 字のレポート(A4 用紙・横書き)を、締切日の 16 時半に、所定の場所に提出した。
- 3 2000 字レポート(A4 用紙・横書き)を、締切日の 17 時 1 分に、所定の場所に提出した。
- 4 2250 字レポート(B4 用紙・横書き)を、締切前日の 10 時に、先生宛にメールで送った。

答え 2

解説

『レポートの書き方』第2章第2節に説明があるので参照しよう。「1」は字数規定が守られていない。「3」は締め切り時間が守られていない。「4」は用紙サイズ、および提出方法が異なる。

問6 次の問いに答えなさい。

『レポートの書き方』の内容を踏まえて、下記の課題指示が出された場合の対応方法として最も適切なものを、選択肢の中から選びなさい。

「1990年代以降の日本映画について、2000字程度で論じなさい」という課題が出題された。

- 1 1990年代以降の日本映画と韓国映画を比較するレポートを、4800字書き上げた。
- 2 1990年代の日本映画に関する授業中の説明や、授業中に配布された資料の内容を、1900に要約したレポートを書き上げた。
- 3 1990年代以降の映画に限らず、日本映画全般についての自分の考えを、授業の感想なども含めるかたちで、ちょうど2000字書き上げた。
- 4 1990年代以降に公開された、女性監督による日本映画作品に共通してみられる特徴は何かというテーマに絞って、授業の内容にも触れながら2250字書き上げた。

答え 4

解説

『レポートの書き方』第2章第2節および第4節を参照しよう。なお、「1」は、字数規定が守られていない。「2」は、授業の要約＝「報告型」レポートである点が誤り。「論じなさい」という課題なので、「論文型」レポートが求められる。「3」は、課題要件の一つである、「1990年代以降の映画」という論点からそれた内容や、授業の感想が含まれている点が不適切。

問7 次の問いに答えなさい。

アイデアを生み出すための「リスト化」とは、どのような方法か。『レポートの書き方』の内容を踏まえて、適当な選択肢を答えなさい。

- 1 エクセルを用いてキーワードを整理する方法

2 思いついたアイデアに番号を打っていく方法

3 キーワード(単語でも短文でも可)を頭の中で整理してから書きだす方法

4 思いつくままにキーワード(単語でも短文でも可)をまずは書き出し、それから書き出したキーワードを整理していく方法

答え 4

解説

『レポートの書き方』第2章第3節に説明があるので参照するとよい。
